

基本施策シート

基本 施策	番号 32	名称 財政運営
----------	-----------------	-------------------

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	指標に対する市の事務事業等の影響度と今後の対応	
1 経常収支比率	%	実績	85.2	84.4	81.9	82.4		指標の悪化については、算定式の分母である経常一般財源収入(地方消費税交付金など)の減少及び分子である経常経費充当一般財源のうち公債費(過去の市債の償還期限終了による減よりも新たに元金償還が開始したことによる増が大きい)や補助費等(小牧岩倉衛生組合運営費負担金の増)の増加によるものである。今後についても引き続き少子高齢化に伴う社会保障費などの扶助費が増嵩することが見込まれることから注視していく必要がある。	指標に対する市の事務事業等の影響度	中
		方向性	↓	↓	↓	↑			歳入面においては、経常一般財源収入である市税の収納率向上をはじめとした歳入の確保に取り組むとともに、歳出面においては、事業の選択と集中に行政評価を効果的に活用し、既存事業の見直しを進め、経費の節減を図る。	

「指標に対する市の事務事業等の影響度」

⇒指標に対する市の施策や事業等の影響(市の施策や事業実施が指標の改善に繋がりがやすいか)を「大」「中」「小」で表しています。

展開方向1	名称	歳入確保の取組みを強化します						方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	要因を踏まえた計画内容の見直し(方向性)と事務事業等の見直しの内容
	所管課	収税課							
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度		
1	市税収納率	%	実績	93.9	95.3	95.5	95.8	電話での催告や文書催告を行い、現年度課税分の収納率は前年度と変わらなかったものの滞納繰越分は前年度を上回ったため、収納率が基準値を上回った。	方向性 ③既存の取組項目・事務事業を維持 収納率の維持向上を図るため、引き続き納付環境の改善に努めていく。
			方向性	↑	↑	↑	↑		

目的 ○受益者負担の原則に基づき、行政サービスを利用する人と利用しない人の負担の公平化を図るとともに、より多くの自主財源を確保します。

取組項目	取組計画	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	平成28年度実績
		実績			予定		
通番 32	担当課ヒアリング 使用料・手数料検討委員会	検討	検討・見直し	検討	検討	検討	受益者負担の観点も踏まえて策定された「講座等の開設及び運営に関する指針」に基づき、講座等については見直しを行った。 (受講料を見直したもの) ・市民講座受講料:200円⇒300円
名称 使用料・手数料の見直し	取組内容 受益と負担の適正化を図り自主財源を確保するため、物価の動向、他市の状況等を勘案しつつ、定期的な見直しなどを実施する。						
課名 財政課							
取組項目	取組計画	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	平成28年度実績
		実績			予定		
通番 33	自動販売機設置の入札化の推進			実施			ネーミングライツや壁面有料広告、広告付き市域地図情報案内板などの現在の取組みを継続するとともに、新たな有料広告媒体の導入について調査研究を進めた。 また、より多くの寄附金を獲得できるように、こまき応援寄附金のお礼の品に名古屋コーチン関連の品を含む6品を新たに追加、ラインアップを充実した。 さらに、寄附が増える年末に向けて、おせち料理などの期間限定品を追加し、時機をとらえた対応に努めた。 (各取組による歳入額、寄附金額) ・ネーミングライツ・壁面有料広告 597,768円 ・ホームページバナー広告 1,224,510円 ・広告付き市域地図情報案内板 684,000円 ・こまき応援寄附金 624,378,390円
名称 新たな自主財源の確保	有料広告の増加			実施			
	こまき応援寄附金の推進			実施			
課名 財政課 関係課	取組内容 自主財源確保につなげるため、現在の取組みを継続するとともに、新たな財源確保のための検討を進める。 また、国や県などの補助事業の積極的な活用について検討を進め、財源の確保に努める。						
取組項目	取組計画	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	平成28年度実績
		実績			予定		
通番 34	徴収技術と収納率の向上			実施			現年度分については、軽自動車税の催告書をコンビニ支払い可能にし利便性の向上を図った。滞納繰越分については、強く納付催告するとともに、継続して滞納者の財産調査を進め、積極的な滞納処分を実施する一方、東尾張地方税滞納整理機構に派遣されていた職員の徴収技術を活かした取組みを行っている。
名称 市税等の収納率向上のための取組みの強化	取組内容 上記施策の周知を図りつつ、東尾張地方税滞納整理機構に参加することで得た徴収技術等を業務に活用していくとともに、効果的な徴収方法を検討・研究しつつ、収入未済額の回収に努め、収納率の向上を図る。						
課名 収税課 債権回収特別対策室							

展開方向2	名称	歳出の削減と合理化を推進します							方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	要因を踏まえた計画内容の見直し(方向性)と事務事業等の見直しの内容
	所管課	財政課								
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度			
1 平成25年度当初予算と比べた経常的経費の削減額	千円	実績	0	21,017 (1%削減)	21,401 (1%削減)	20,910 (1%削減)		当初予算編成にあたり、経常費の一律1%シーリングを実施した。今後、行政評価による削減効果が期待できるが、併せて削減効果のある手法については、検討を進める必要がある。	方向性	③既存の取組項目・事務事業を維持
		方向性	5%削減	→	→	→			当初予算編成にあたり、経常費の一律1%シーリングを実施してきたが、これは各担当課が自主的に取組むものではなかった。平成29年度に実施する行政評価では、これまで以上に担当課自らが、事業の選択と集中に取組み、経費の削減を図ることが期待される。	

目的		○経費の削減に努め、一層の歳出抑制を図ります。									
取組項目	取組計画	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	平成28年度実績				
通番	35	実績			予定						
名称	経常的経費の削減(適宜実施)	検討			実施			平成29年度当初予算編成時に、経常費の一律1%シーリング(20,431千円削減)を実施した。また、事業費増となる場合、他事業の見直しにより財源を確保することを前提とするため、担当課で事業費予算要求シートを作成し、提出することとした。その結果、業務の見直しに伴う旅費や消耗品費の削減、再リースの活用等による経費節減の取組みが進むとともに、職員のコスト意識向上にも寄与した。			
課名	財政課	取組内容			コスト意識の徹底と費用対効果の検証を行い、徹底した改善・見直しを行うことにより、経常的経費の節減に努める。						
取組項目	取組計画	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	平成28年度実績				
通番	36	実績			予定						
名称	小牧市公共工事コスト改善プログラムの推進	実施						公共工事コスト改善プログラムにより、関係課(13課)において公共工事のコスト削減に取り組んだ。取り組む具体策100項目中71項目を実施し、コスト削減額が全体で115,245千円となった。			
課名	契約検査課	取組内容			「小牧市公共工事コスト改善プログラム」が平成25年度で終了するため、課題を解消し、改良した「小牧市公共工事コスト改善プログラム(H26～)」に基づき、公共工事に関する総合的なコスト削減を引き続き実施する。						
取組項目	取組計画	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	平成28年度実績				
通番	37	実績			予定						
名称	既存補助金等の見直し	実施						補助金の創設や見直しに加え、補助金事務の一連の流れを適切に遂行できるよう、担当職員向けに「補助金事務の手引き」を新たに策定した。			
課名	財政課	取組内容			実態調査			各種補助金等のねらい、目的を補助対象者等に周知し、目的が達成された補助金や公益性の薄れた補助金を廃止するとともに、補助金制度の現状を把握し、一定の基準に基づき整理を行う。新しい補助金等を設置する場合は、「終期設定」の徹底を図り、固定化及び既得権化を抑制する。			

展開方向3	名称	健全で計画的な財政運営を推進します							方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	要因を踏まえた計画内容の見直し(方向性)と事務事業等の見直しの内容
	所管課	財政課								
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度			
1	実質公債費比率	%	実績	0.5	0.1	0	0	/	公債費が若干増え、分母の標準財政規模も減少したため、3か年平均での実績は横ばいであるが、単年度では若干悪化している。今後、大型公共施設の建設を控えているが、積立基金の活用などにより過度な借入は行わない予定であるため、健全な比率を維持できるものと考えている。	方向性 ③既存の取組項目・事務事業を維持 引き続き、現在の展開方向に沿った取組みをしていく。
			方向性	2.5%以内	↓	↓	→			

目的 ○様々な社会経済情勢の変化に柔軟に対応できるよう、財政基盤を着実に強化します。

取組項目	取組計画	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	平成28年度実績
		実績			予定		
通番 38	適切な市債の借入れ	実施					中・長期的な視点から、世代間の負担が偏ることのないよう、適切な基金及び市債の活用に努めた。 (一般会計、特別会計及び企業会計を合わせた市全体の残高) ・市債279億円、基金282億円
名称 基金や市債の適切な活用	適切な基金の運用	実施					
課名 財政課	取組内容 引き続き、中・長期的な視点から基金や市債のバランスのとれた適切な活用を行い、世代間負担の公平化を図る。						
取組項目	取組計画	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	平成28年度実績
通番 39	公共施設白書の作成	実施					施設所管課と意見調整を図るとともに、庁内横断会議を3回、外部有識者会議を4回開催し、パブリックコメントを12月に実施し、本市の公共施設全体の今後の取組むべき方向性を示した公共ファシリティマネジメント基本方針と、これに基づいて公共施設の配置や総量の適正化に向けた公共施設適正配置計画と、適切な維持管理を実施し公共施設の長寿命化を図る公共施設長寿命化計画を3月末に策定しました。今後は、限られた財源の中で、効率的・効果的に予防保全を実施するため、予算査定・実施計画と連携しながら、計画的に施設維持管理を行う仕組みを構築し、段階的に実施していく予定。
名称 公共ファシリティマネジメントの推進	劣化診断調査の実施	実施					
	公共ファシリティマネジメント基本方針・公共施設適正配置計画・公共施設長寿命化計画の策定	検討	実施				
	公共ファシリティマネジメントの推進(※H28追加)				実施		
	取組内容 平成25・26年度で公共施設白書を作成し、平成26年度で劣化診断調査を実施する。これらにより明らかになった現状と課題を踏まえ、その後、公共ファシリティマネジメント基本方針と各施設のあり方について定めた公共施設適正配置計画と修繕コスト抑制のため、将来にわたり長く使用する施設の修繕計画を定めた公共施設長寿命化計画の策定を行う。						
課名 資産管理課							
取組項目	取組計画	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	平成28年度実績
通番 40	歳計現金及び歳入歳出外現金の運用	実施					<運用益> ・歳計現金及び歳入歳出外現金の運用 大口定期:123,287円 (債権は短期金利が大口定期利息を下回っているため利用せず) ・基金に属する現金の運用 大口定期:24,151,586円 債 券:9,044,631円
名称 公金運用事業	基金に属する現金の運用	実施					
課名 会計課	取組内容 元本回収の確実性や支払い準備のための流動性の確保に留意しながら、効率的な公金運用を行い、基金利子等の収入確保に努める。						